

ふれあいネットワーク



第66号

平成23年4月5日発行

社協だより

4月



佐用町社会福祉大会を開催 ～社協合併5周年記念～



3月6日、「佐用町社会福祉大会」をさよう文化情報センターで開催し、町内各地から約300人の参加がありました。

まず、オープニングセレモニーとしてボランティアグループ「ブルーハープ」の皆さんが大正琴を演奏。また、開会式後の福祉功労者表彰では、佐用町の福祉推進に貢献された9人の方々へ感謝状の贈呈がありました。

講演では、タレントの辻イト子氏に、『いくつになっても輝きを ～家族の介護から学んだこと～』と題して、障がいをもつ長女の子育てや右半身マヒとなった実父の9年間に及ぶ自宅介護、40歳半ばからの第2の青春を楽しむことなどを、明るく話していただきました。

町社協も「いつでも輝きのある地域づくり」を目指して、事業を推進してまいりますので、今後ともご支援ご協力賜りますようお願い申し上げます。



社会福祉法人佐用町社会福祉協議会

○佐用町東徳久1946番地 南光地域福祉センター内

地域福祉課 総務係 TEL: (0790) 78-1212
地域福祉推進係 TEL: (0790) 78-0830
FAX: (0790) 78-1700

介護支援課 きらめきケアセンター
訪問介護・訪問入浴 TEL: (0790) 78-8955
通所介護事業所 TEL: (0790) 78-1717
居宅介護支援事業所 TEL: (0790) 78-8977

○佐用町平福138番地8 佐用町地域福祉センター内

きらめきケアセンター佐用 TEL: (0790) 83-2946
FAX: (0790) 83-2920
通所介護事業所 TEL: (0790) 83-2947

○佐用町久崎283番地2 久崎老人福祉センター内

きらめきケアセンター上月 TEL: (0790) 88-0001
(通所介護事業所) TEL: (0790) 88-0814

○佐用町下本郷647番地1 三日月福祉拠点施設内

きらめきケアセンター三日月 TEL: (0790) 79-2994
FAX: (0790) 79-2900



この広報紙は共同募金配分金の一部で作られています。

予算成立!!

具体的な活動項目

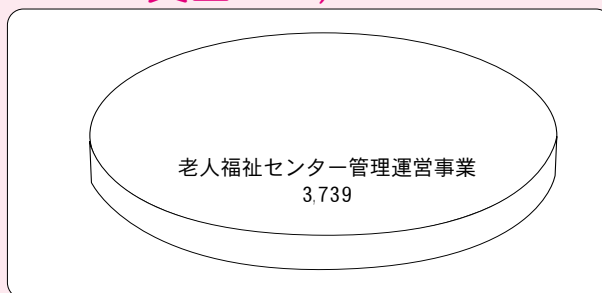
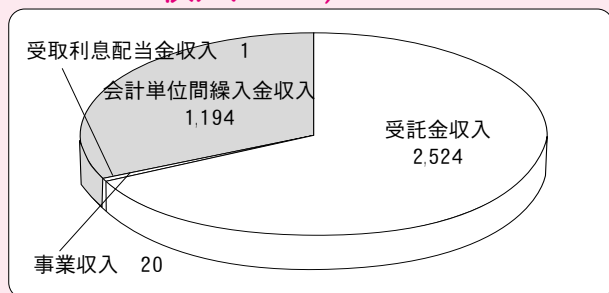
- 復興支援センターの運営**
被災者への復興支援・生活支援活動を行い、地元住民・ボランティアによる「ふれあい交流」を中心とした活動を続けていきます。
- 組織体制の強化**
理事会や評議員会では、それぞれの機能を十分に発揮できるよう、事務局からの情報提供を密にし、連携の強化を図ります。また、事務局体制の見直しを進め、業務管理体制を強化し、社会福祉の専門家集団として専門的力量を身につけるよう研修を実施します。
- 第2次地域福祉推進計画の策定**
社協の基本的な方向性を示す「第1次地域福祉推進計画（さようふくしプラン）」の最終年度を迎える今年度は、事業の総括と評価を行い、住民の福祉ニーズに即した「第2次地域福祉推進計画」を策定します。
- 地域福祉活動の推進**
福祉ニーズに基づき、かつ地域性を活かした地域福祉活動の展開を常に意識し、町民による要援護者への見守り活動や生活支援活動の充実を進めていきます。
- 在宅福祉活動の推進**
関係機関団体等の協力を得ながら、予防から生活支援まで町民に信頼され利用しやすく喜んでいただけるインフォーマルサービスの実現を目指します。
- 福祉総合相談活動の推進**
住民のあらゆる生活・福祉問題に対し、迅速な解決につなげるために必要な相談に応じます。
- ボランティアセンターの運営**
住民の知識と技術を活かしたボランティア活動の機会づくりや活動支援を実施し、ボランティアセンター基盤の整備に努めます。
- 調査広報活動**
社協だより"かがやき"等を通して、福祉情報や社協の活動の動きを分かりやすく発信します。
- 福祉教育の取り組み**
小中学校及び教育委員会と連携しながら、福祉の大切さや助け合いの気持ち、やさしい心を育てる事業を実施します。
- 介護サービス事業所の運営**
介護保険制度、障害者自立支援法や医療制度改革の動きを把握しながら、行政や福祉・医療等の関係機関との連携を図り、介護サービス提供体制の整備や介護サービスの質の向上に努め、常に利用者の立場に立ち、心のこもった介護サービスを提供します。
- 財政面の強化**
地域福祉・在宅福祉活動を進めるための財源確保に努めます。
- その他**
火災・災害等見舞金事業や共同募金運動・歳末たすけあい運動への協力などを行います。

公益事業特別会計資金収支予算内訳

（単位：千円）

収入 3,739

支出 3,739

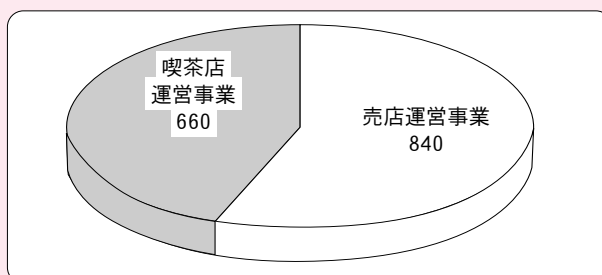
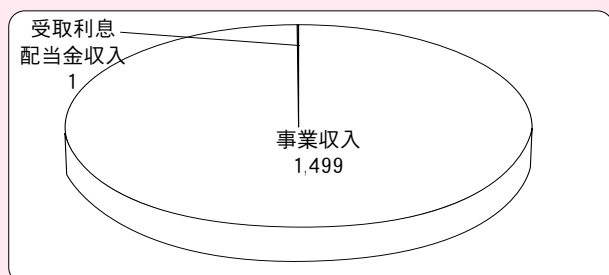


収益事業特別会計資金収支予算内訳

（単位：千円）

収入 1,500

支出 1,500



平成23年度 事業計画

3月22日の理事会及び3月30日の評議員会において、平成23年度の事業計画並びに予算が原案どおり決定されました。

期間：平成23年4月1日
～平成24年3月31日

基本方針

世界的な経済危機が続く中、中東では長期政権のゆがみにより貧富の格差による反政府デモが拡大しており、アジアにも波及の恐れがみえてきています。また、デモの拡大による原油の高騰により、回復基調にある世界経済に黄色信号をともしることになり、物価高騰が心配されます。

国内においては、政局の混乱や個人所得の減少、雇用不安等による個人消費の冷え込みが依然回復せず、景気の低迷による不安が拡大しています。

また、地震や台風、集中豪雨等甚大な災害が全国各地で起こっており、多くの生命・財産が失われています。災害を未然に防ぐためにも「自分たちの地域は、自分たちで守る」の取り組みが不可欠であり、「自助」、「共助」、「公助」の一体的支援体制の取り組みを進める必要が求められています。

一方、人口の減少・少子高齢化による世帯規模の縮小により、家族や地域社会のつながりや支えあいの力が弱体化する中で、社協は「全ての住民が共に生き、支えあい、より豊かな生活を創り出す福祉コミュニティを実現する」という基本理念に基づき、地域住民相互の助け合い、支えあい活動の推進を図ります。

重点目標

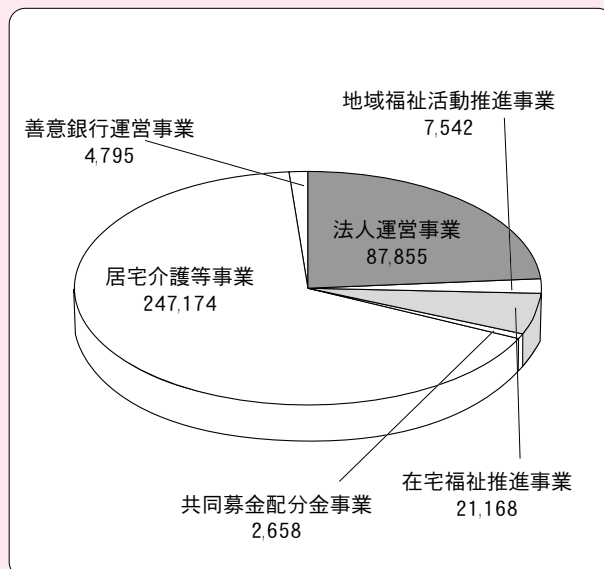
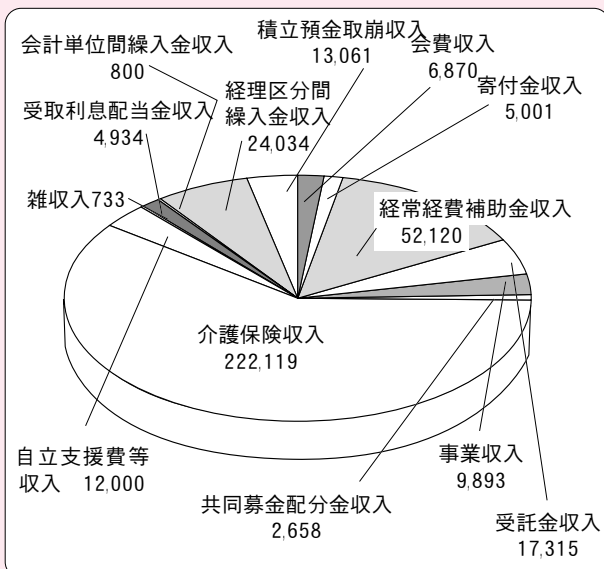
- ①復興支援・生活支援活動により、福祉コミュニティの推進を図ります
- ②第2次佐用町地域福祉推進計画（平成24年～平成28年度）を策定します
- ③介護保険法及び障害者自立支援法に基づく介護サービス事業を推進します
- ④地域住民の参加参画による福祉力の向上とボランティア活動の推進を図ります
- ⑤社協の人材育成と組織体制の強化を図ります
- ⑥社協経営の健全化を図ります

一般会計資金収支予算内訳

(単位：千円)

収入 371,538

支出 371,192



今、私たちにできること

東北地方太平洋沖地震への支援として

あの水害を忘れない

一昨年、佐用町を襲った台風9号豪雨災害時には、町内外の16,000人を超えるボランティアの方々が様々な形で活動し、佐用町を支えてくれました。また、多くの義援金や救援物資なども届けられるとともに、水害後も長期間にわたって活動を展開し、復興支援を行っているボランティアやNPOの団体などもあります。



▲一昨年のボランティア活動の様子

物資発送

町社協では、3月11日に発生した東北地方太平洋沖



▲物資を積載したトラック

地震の被災地支援として、一昨年の水害時に全国各地から届けられ、社協で保管していたボランティア活動用のリレー資機材（一輪車やスコップ、タオル、軍手、佐用町提供の土のう袋など）を、3月23日に宮城県の上巻市と利府町へ運送業者に依頼して発送しました。

災害ボランティアの協力

資材の発送にあたり、3月21日に災害ボランティアとして登録していただいている10人の方の協力を得て、

分解保管していた一輪車の組み立てや、資機材の仕分けをしました。また、タオルや軍手などの小物も、段ボール箱に整理しながら詰めていただきました。



▲災害ボランティアによる資機材の組立の様子

町と連携した取組の展開

町社協では、一昨年の水害でお世話になった方々へのお礼として、すぐにでもボランティアを募り被災地へ向かいたいのですが、現状の状況を確認しながら柔軟に対応していきたいと考え

えています。

そこで、『今、私たちにできること』として、町と社協、自治会連合会とともに実施している義援金への協力などの後方支援に取り組んでいます。

社協のネットワークを通じた支援

また、全国社会福祉協議会及び兵庫県社会福祉協議会、西播磨ブロック協議会を通じて、宮城県内の社協（災害ボランティアセンター）へ応援スタッフの派遣依頼も来ていますので、職員派遣の調整を行っているところです。

今、私たちにできること

まず、『今、自分にできること』として、義援金への協力、灯油やガソリンなどの節約や節電、献血といった被災地への間接的な援助活動を考えていただきたい

と思います。『一人ひとりの小さな力でも、力を合わせれば大きくなります。』そして、今後、ボランティアの活躍する機会も増えてくるのが想定されますので、災害ボランティアへの登録をお願いいたします。また、今後発生が懸念される山崎断層での地震に備えて、家庭や隣保、集落、地域で話し合い、減災への取り組みも進めていただきたいと思います。

町内の小学校から

町内の小学校児童会では、募金活動を実施し集められた義援金や被災地の方々への励ましのメッセージなどを届けていただきました。



▲三日月小学校から届いた励ましのメッセージ

”家族介護者のつどい”で書写山圓教寺を参拝

第4回家族介護者のつどいを3月16日に開催しました。

今回は、姫路市の書写山圓教寺へ見学に行きました。当日は、朝から雪がちだった。寒い日となりましたが、22人の参加がありました。まず、書写山の麓からロープウェイと巡回バスを使って圓教寺会館まで上がりました。圓教寺会館では、近江コンニャクや湯葉コンニャクを刺身に見立てるなど、工夫された精進料理をいただきました。姫路市の小学生は自然学校で訪れるようで、この圓教寺会館に何十年も変わ



▲摩尼殿への参道

らないレシピで作られた懐かしいカレーを求めて訪れる方も多いそうです。

その後は、摩尼殿や大講堂、常行堂などを住職に案内していただきました。書写山は、同じ姫路市にあり、播州の守護神として崇敬される廣峰神社に祀られている素戔鳴尊（すさのおのみこと）と縁が深く、『すさ』が訛って『しよしや』と言われるようになったことや、圓教寺が性空上人によつて西暦966年に開かれた天台宗のお寺で、西の比叡山とも称される僧侶の修行道場の寺であることなどを説明していただきました。

境内は、国指定の史跡であり多くの重要文化財が現存している、普段なかなか見学することができない場所まで見れたことや、住職のありがたいお話もいただき、参加されたみなさんは喜ばれていま

した。帰りのバスの中では、「良い冥土の土産ができたわ。」といった声も聞かれました。社協では、平成23年度も介護されている方々の心身のリフレッシュを図ることを目的に、『介護者のつどい』を予定していますので、多数のご参加をお待ちしています。

町民の皆さまへお願い ～義援金にご協力を～

■義援金の受付窓口

義援金は、役場会計課及び各支所で受け付けられています。窓口で受け付けた場合、預り証が発行されます。

■救援募金箱を4月末日まで設置

救援募金箱は、町内の公共施設に4月末日まで設置されています。なお、救援募金箱への募金の場合、預り証の発行はできません。

※義援金を装った詐欺にご注意ください。

詳しくは、東日本大震災救援募金佐用町委員会（☎82-0664）までお問い合わせください。

拡がれ!ボランティアのWaiwaitsumare!! リターンズ 町内ボランティアグループ紹介(Vol. 4)

♪プロフィール

グループ名：ことぶき会

代表：前澤都見子

設立年月：昭和63年9月

会員数：17名



▲活動の様子

♪グループからの一言
ことぶき会は、会員17人で月2回、第2・第4火曜日の13時30分～16時まで廃品や端布、毛糸等を使って、置物や飾り物などの小物を作っています。特に毎年年末には、干支作りをして友愛訪問品としたり、バザーに出品しています。また、手拭い一枚で出来る帽子とセットにした腕抜きも縫ったりしていますし、布で作ったカルタやすごろく、トランプも貸し出しをして、喜んで頂いています。その他、三原ホームや子ども広場との交流も和気あいあいと楽しんでいます。みなさんも、ちよつと参加してみられませんか？

善意の心ありがとうございました。

2月16日～3月15日受付分
預託者名（順不同・敬称略）

金銭口座

○香料返しにかえて

桑野 竹内 隆

〃 松本 時子

豊福 三枝 熊夫

久崎 大内 広子

円光寺 西谷 明子

大酒 村上 尚弥

中島 入江 千鶴子

下徳久 山本 保恵

平松 桑田 芳久

中三河 井上 政雄

○供養として

佐用 一色 徹

円応寺 高本 文也

西下野 勝山 ミチコ

下本郷 下出 孜

乃井野 清水 ゆみ子

○お見舞い返しに代えて

横坂 匿名

淀 有本 長治郎

○福祉のために

佐用 匿名

医療法人社団岡本医院

上月小学校5年生

兵庫県教職員組合

佐用支部青年部

○給食材料

本位田 三枝 保

口長谷 井口 洋子

宗行 林 多賀代

横坂 矢内 久重

〃 矢内 仁幸

奥金近 末谷 和子

奥長谷 阿山 雅子

庵岡 田美佐子

平福 萩原 泰子

上石井 高野 二郎

豊福 小林 美矢子

〃 小辰 夫

福澤 匿名

末包 稲田 重富

中島 高見 修江

林崎 鎌内 敦子

〃 鎌内 トヨ子

〃 鎌内 由紀子

〃 上木 幸利

〃 上木 幸利

〃 上木 幸利

〃 上木 幸利

〃 上木 幸利

〃 上木 幸利

〃 上木 幸利

〃 上木 幸利

〃 上木 幸利

〃 上木 幸利

〃 上木 幸利

〃 上木 幸利

〃 上木 幸利

〃 上木 幸利

〃 上木 幸利

〃 上木 幸利

平福 西笠 ミツ工

〃 西笠 忠夫

水根 平尾 喜代子

奥海 坂本 ちづる

海内 梶本 達郎

才金 谷口 敏一

金屋 竹内 君江

須安 匿名

宇根 梶原 ふみ糸

上月 匿名

早瀬 山上 武夫

久崎 匿名

櫛田 上野 幸子

〃 長井 恵子

〃 藤本 勝一

〃 藤本 勝一

〃 藤本 勝一

〃 藤本 勝一

〃 藤本 勝一

〃 藤本 勝一

〃 藤本 勝一

〃 藤本 勝一

〃 藤本 勝一

〃 藤本 勝一

〃 藤本 勝一

〃 藤本 勝一

〃 藤本 勝一

〃 藤本 勝一

〃 藤本 勝一

〃 藤本 勝一

〃 藤本 勝一

〃 藤本 勝一



▲大下副会長に手渡す児童会のみなさん

関係者のみなさんありがとうございました。

この度、上月小学校5年生のみなさんが、全校生徒に呼びかけて1年間プルタブを回収し、それを回収業者に買い取っていただいた収益金を、福祉のために寄付していただきました。

また、上月小学校児童会からは、1年間集めていただいた古切手と、奄美大島の水害時に救援物資として集められていた新品のタオルを寄贈していただきました。

善意銀行トピックス

盛々亭
町役場生涯学習課
町役場三日月支所
（株）横山基礎工事
匿名

4月1日の人事異動

4月1日の人事異動は次のとおりです。（カッコ内は旧所属）

地域福祉課

●地域福祉推進係

平井洋二（きらめきケアセンター 佐用） 兼復興支援係

延原慎哉（新規採用）

介護支援課

●きらめきケアセンター通所介護

小河しのぶ（きらめきケアセンター 佐用）

藤本 浩（きらめきケアセンター 上月）

西山しげ子（訪問入浴介護）

●きらめきケアセンター 佐用

天野しのぶ（地域福祉課）

水元重子（新規契約）

●きらめきケアセンター 上月

大内秀世（きらめきケアセンター）



ふれあいカレンダー（4月）

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
					4/1 ひだまり (自由遊び) 三日月福祉拠点施設 10:00～ 給食サービス	2 モーニング喫茶 「きらめき」 五反田集会所 9:00 ～11:00
3	4	5 給食サービス	6 エンゼルのひろば (自由遊び) 久崎老人福祉センター 10:00～ 子ども広場 (小物作り) 三日月福祉拠点施設 15:00～	7 ひまわり (自由遊び) 南光地域福祉センター 10:00～ ふれあい喫茶 『ほほえみ』 三日月福祉拠点施設 10:00～ 子ども広場 (ゴルフ教室) 三日月福祉拠点施設 14:00～	8 ひだまり (自由遊び) 三日月福祉拠点施設 10:00～ ひだまり喫茶 三日月福祉拠点施設 10:00～ 給食サービス	9 モーニング喫茶 「きらめき」 上月仮設住宅集会所 9:00～ 11:00 ふれあい喫茶 『ほほえみ』 久崎地区センター 9:30～
10	11 びっくり箱 (自由遊び) 佐用町地域福祉センター 10:00～ 長谷ふれあい喫茶 ふれあい長谷 13:30～	12 ふれあい喫茶 『ほほえみ』 三日月福祉拠点施設 10:00～ 給食サービス	13 エンゼルのひろば (自由遊び) 久崎老人福祉センター 10:00～ 子ども広場(将棋) 三日月福祉拠点施設 15:00～	14 ひまわり (自由遊び) 南光地域福祉センター 10:00～ 江川地区 世代間交流サロン 江川小学校 14:30～	15 ひだまり (自由遊び) 三日月福祉拠点施設 10:00～ 給食サービス	16 モーニング喫茶 「きらめき」 久崎老人福祉センター 9:00 ～11:00 ふれあい喫茶 『あえ～る』 南光文化センター 9:00～
17	18 びっくり箱 (自由遊び) 佐用町地域福祉センター 10:00～ ふれあい喫茶 『ほほえみ』 三日月福祉拠点施設 10:00～	19 給食サービス	20 エンゼルのひろば (自由遊び) 久崎老人福祉センター 10:00～ 春秋・福寿の会 三日月福祉拠点施設 11:00～ 子ども広場 (小物作り) 三日月福祉拠点施設 15:00～	21 ひまわり (自由遊び) 南光地域福祉センター 10:00～	22 ひだまり (こいのぼりを 作る) 三日月福祉拠点施設 10:00～ ひだまり喫茶 三日月福祉拠点施設 10:00～ 給食サービス	23
24 江川地区ふれあい喫茶 江川文化センター 13:30～	25 びっくり箱 (お花見) 旧佐用保育園跡地 11:00～	26 給食サービス	27 エンゼルのひろば (ハイキング) 笹ヶ丘公園 10:00～ おしゃべりクッキング 三日月福祉拠点施設 10:00～ 子ども広場(将棋) 三日月福祉拠点施設 15:00～	28 ひまわり (ピクニック) 南光地域福祉センター 10:00～ 給食サービス	29	30
5/1	2 ふれあいの里交流 (廣山・弦谷・新宿) 三日月福祉拠点施設 10:00～ 給食サービス	3	4	5	6 給食サービス	7 モーニング喫茶 「きらめき」 五反田集会所 9:00 ～11:00



町民ペンリレー (No.64)

藤田 修一さん(50才)

(佐用町漆野)

質問：自己紹介をして下さい。**答え：**現在、小学校に勤めています。毎日、子ども達の明るい声と笑顔に接しながら生活しています。夏に、一面ひまわりが咲く漆野に住んでいます。**質問：**特技・趣味はなんですか？**答え：**冬は家族でスキー、夏は海釣りに行っています。**質問：**日頃から心がけていることはありますか？**答え：**少しメタボぎみになってしまいました。とにかく体を動かして、メタボ三兄弟を追いつくことに心がけています。それと、朝「おはよう」と家族と挨拶を交わすことを心がけています。**質問：**毎日続けていることはありますか？**答え：**50才を過ぎて体力の衰えを感じているので、できるだけ歩くようにしています。あと毎朝、ABCラジオ『おはようパーソナリティ道上洋三です』を聴きながら通勤しています。**質問：**最近のマイブームはなんですか？**答え：**NHKの朝の連ドラにはまっています。『ゲゲゲの女房』や『てっぱん』を録画して家族で見えています。**質問：**夢や目標はなんですか？**答え：**海外の世界遺産を訪ねる旅をしてみたいと思います。**質問：**町内のお気に入りの場所はどこですか？**答え：**船越山瑠璃寺へ続く大杉に囲まれた参道です。自然の神秘さ雄大さを感じます。**質問：**好きな言葉はありますか？**答え：**『Where there is a will, there is a way (意思ある所に道がある)』です。高校時代の恩師に教えて頂いた言葉です。**質問：**町行政・社協へ望むことはありますか？**答え：**今回の東北関東大震災は、本当に悲しい出来事です。水害を経験した町として、災害に強く安全な町づくりを一層進めて欲しいと思います。そして、子どもやお年寄りに温かい町づくりを望みます。

小林和弥さんからのメッセージ：「西脇工業に行っても頑張りますので、応援よろしくお願いします。先生の指導があって、今の僕があります。これからもたくさんの生徒に夢と希望を教えてあげてください。」



まちの子育てひろば通信

ボランティアグループ"さんりんしゃ"さんが来たよ!!

3月24日に南光地域福祉センターで、子育てひろば『ひまわり』のお別れ会を開催しました。

カード作りやボール送りゲームで楽しんだ後、ボランティアグループ"さんりんしゃ"のみなさんによる人形劇やパネルシアター、春の歌など、盛りだくさんの内容で行いました。子どもたちもじっと真剣に眺めたり、歌に合わせて手拍子をしたりと、この1年でみんな大きくなったんだなあ～と実感しました。最後には、バルーンアートのプレゼントがあり、子どもたちも大喜びでした。

4月からも大勢の参加をお待ちしています。



▲『さんりんしゃ』によるパネルシアターの様子

☆町内の子育てひろば☆ (原則、10時～12時の開放です。)

♪びっくり箱	毎週月曜日	佐用町地域福祉センター (4月4日はお休みです)
♪エンゼルのひろば	毎週水曜日	久崎老人福祉センター (5月4日はお休みです)
♪ひまわり	毎週木曜日	南光地域福祉センター (5月5日はお休みです)
♪ひだまり	毎週金曜日	三日月福祉拠点施設 (4月29日はお休みです)